

**類例** I'm not sure **which** is the correct answer.

どちらが正解なのか、私には定かではありません。

We should investigate **how** this accident happened.

どのようにしてこの事故が発生したのか、調査をしなければなりません。

Do you have any idea (as to) **who** has gotten (主に米) [got (主に英)] the highest marks in the midterm?

誰が中間試験で最高点を取ったのか知っていますか。

I have no idea **why** he decided to quit the club.

彼がなぜ退部することにしたのか、私には見当がつきません。

〔not have any idea, have no idea で not know とほぼ同じ意味になる〕

Can I ask you **why** you didn't run for the presidency?

なぜ大統領選挙に出馬しなかったのか、お聞きしてもよろしいでしょうか。

Can you tell me **where** the teachers' room is?

職員室がどこにあるのか教えてくださいませんか。

I don't know **where** he learned English.

彼がどこで英語を身につけたのか、私には分かりません。

I can't tell **how** much it cost.

それがどれくらいの値段だったのか、私には分かりません。

I wonder **how** they managed to get out of the room.

彼らはどうやってこの部屋から脱出したのだろう。

## 英語の原理 間接疑問文ではなぜ平叙文の語順になるのか？

疑問文が別の文の中に組み込まれるときに、疑問文としての役割を失ったためと考えればよい。18では、文全体は I don't care ... という平叙文である。あくまで間接疑問文の who she is は、文中で目的語となる名詞節の役割をしているのみであり、誰かに何かを尋ねるという働きはもはやない。よって疑問文の語順にする必要はないのだ。

20は、Who are you? という文に do you think が挿入されたものである。このような場合、〈疑問詞 + **do you think** + S + V (平叙文の語順)〉になり、× Who do you think are you? としない。

**類例** Who do you think is coming to the party?

誰がパーティに来ると思いますか。

Which team do you think will win the game?

試合に勝つのはどのチームだと思いますか。

Why do you think the plane arrived late?

その便の到着時刻が遅れたのはなぜだと思いますか。

語順に注意



※ think 以外に、believe, expect, hope, imagine, suppose などの動詞を用いることもある。

Who do you believe our new homeroom teacher will be?

私たちの新しい担任は誰になると思いますか。

## 2 否定疑問文

- 21 “Billy, **can’t you do** better in school?” “I’m sorry. I’ll study harder for the next exam.” 「〈いら立ちを示して〉ビリー、もう少し成績はよくならないの」  
「ごめんなさい、次の試験に向けてしっかり勉強します」 566
- 22 “**Don’t you agree** to my proposal?” “Well, I’ll think about it.” 567  
「〈同意を求めて〉私の提案にご賛同いただけないのですか(賛同してくれますよね)」  
「ええ、まあ考えてみますよ」

通常の疑問文では「…ですか?」となるところ、「…ではないのですか?」のように否定を伴う質問をする疑問文を、**否定疑問文**と呼ぶ。

否定疑問文は、通常の疑問文に比べて様々な話し手の心理が付け加わる。

- 1) 肯定の答えを期待しているのに、そうなっていないことへの〈失望〉や〈いらだち〉を表す。(21)
- 2) 肯定の答えを期待し、「そうですね」という〈確認〉を表す。(22)

- 1) Can you do better in school? が中立的な質問・依頼文であるのに対して、21では、ビリーがどうしてよい成績が取れないのだといらだって、それを求めているという意味合いがある。
- 2) Do you agree to my proposal? が中立的な質問であるのに対して、22では、相手が自分の提案に同意してくれるのを期待し、「同意してくれますよね」という〈確認〉の意味で使われる。

**類例** Isn’t it possible that you have left your bag in school?  
かばんを学校に置いてきたという可能性はないの?

**Haven’t we seen this movie before?**

この映画、前に観たことはありませんでしたっけ。



**類例** You are the tallest girl in the class, **aren't you?**

あなたクラスの女子で一番背が高いのですね。

You left your wallet at the fast-food restaurant, **didn't you?**

あなたはファストフード店に財布を忘れましたよね。

You haven't changed a bit, **have you?**

あなたったら、全然変わっていませんよね。

I must see Mr. Matsumoto after school, **mustn't I?**

放課後に松本先生のところに行かなくてはなりませんね。

All second graders should attend the graduation ceremony, **shouldn't they?** 2年生は全員卒業式に出席せねばなりませんね。

Well, I am your mother, **aren't I?** えっと、私あなたの母親よね？

I don't have to pick him up at the station, **do I?**

彼のことを駅まで迎えに行かなくていいんですね。

**【!】** little, few, hardly, scarcely, rarely, seldom などの準否定語が使われている場合は、それに続く付加疑問は肯定の疑問形が用いられる(→ pp.421-423 準否定)。

**Few people** are aware of the danger, **are they?**

危機に気付いている人はほとんどいないでしょう。

### コミュニケーション 付加疑問文の発音について

付加疑問文では、文末のイントネーションによって意味が異なってくるので注意しよう。

1) 上昇調(↗)で発音すると、「自分の発言にいまひとつ確信が持てない」というニュアンス。

You are from Tokyo, **aren't you?** (↗)

〈ひょっとすると間違っているかもしれないが〉確かあなた、東京のご出身ではなかったでしたっけ。

2) 下降調(↘)で発音すると、「確信があるので、確認・同意を求めたい」というニュアンス。

You are from Tokyo, **aren't you?** (↘)

〈確信はあるが念のため確認しておく〉あなたは東京のご出身ですね。

● What do you think of [about] ...? (32)

「…についてはどう思いますか」と意見を求めるときの定型表現 (→ p.395 **[!]**)。

原理

of は直接的で強い関心を, about は漠然とした関連性を示すため, 具体的な個別の内容について問うときは of, 漠然とした幅広い意見を求めるときは about が使われることが多い。

**類例** What do you think of my new hairstyle? 私の新しい髪形, どうかしら。

What do you think of raising taxes to build a fire station?

消防署の建設のために増税することについて, どう思いますか。

What do you think about Ken? 健についてどう思いますか。

● What if ...? (33)

特に望ましくない事態などを想定して, 「もし…したらどうなるだろうか」と尋ねる表現。if 節の内容の実現可能性が低いと話し手が考えている場合は, 仮定法過去 (33) では couldn't) を用いる。What if 以下は平叙文の語順 <S + V> になる。

What if we spend [spent] our holiday in Okinawa.

休暇を沖縄で過ごしてはどうでしょう。

[if 節で仮定法過去 (この例では spent) を用いるとより控えめな提案になる]

● How come ...? (34)

How come ...? は元々の How does it come about that ...? を簡略化した《くだけた》表現で, いきさつ・経過を意識して「どうして…なのか?」と理由を尋ねるもの。Why ...? より意味が強く, 驚きなどの感情も暗示する。How come 以下は平叙文の語順 <S + V> になる。(→ p.388 **[4]**)

**類例** How come you know so much about American history?

なぜアメリカ史にそんなに詳しいのですか。

How come you forgot to lock the door?

なぜドアに鍵をかけ忘れたのですか。

How come you failed to turn in the paper?

どうしてレポートを提出しなかったのですか。

### ● Do [Would] you mind if I ...? (37)

「…でもいいですか」と相手に〈許可〉を求める表現。

内容はたいていの場合、承諾可能なもの。

Would you mind ...? の方がより丁寧な表現。

**類例** **Would you mind if I sat down here?** ここに座っても構いませんか？  
〔if 節中は、仮定法過去か《くだけて》では現在形も用いられる。仮定法過去を用いる方が控え目な言い方で、話し手が if 節の内容の実現が難しいかもしれないという気持ちを表す〕

#### 英語の原理 答え方に注意！

Do [Would] you mind if I ...? に対して「どうぞ」と応じる際には、No, please go ahead./ No, not at all. のように No で答えるのが基本。

**原理** もともと mind は「…をいやだと思う、迷惑がる」という意味なので、Yes と答えると、「嫌がっている」ことになってしまう。丁重に断る場合には、I'd rather you didn't. とする。

**“Do you mind if I smoke here?” “No, go (right) ahead.”**

「ここでタバコを吸ってもかまいませんか」「ええ、全く構いません」